

News Letter

vol.10
2018. 2月号

毎月発行

今月のようしー

2月3月はプライマリ・ケア、総合診療、地域医療、家庭医医療にとっては熱い季節になっています。大きな歴史の転換点に皆さんはいます。

若い医学生や研修医の皆さんが自信を持って進むことができる道をAll Miyazakiで、医療人・行政・住民が一体となって進めていきましょう。

みやざきから熱い風を！



教授 吉村 学

連載企画

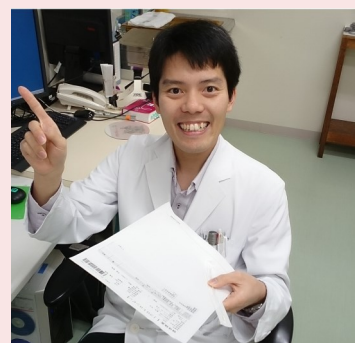
臨床実習病院・診療所紹介「宮崎市立田野病院」

宮崎市立田野病院 高石 真那斗 先生

！！全国初！！国立大学法人指定管理病院である、宮崎市立田野病院です。病院自体は宮崎市のものですが、事実上の管理・運営は国立大学法人宮崎大学が行っているという少し特殊な病院です。管理・運営方法は特殊でも、行っている医療は、よくある、何の変哲もない、ごく一般的な、平々凡々な総合診療（地域医療）です。



私は学生時代から、特定の臓器にこだわらずに患者・家族・地域の全体を見て医療を展開する総合診療・地域医療に興味があり、卒後臨床研修を終えてすぐに、当院でこの世界に入りました。現在では、宮崎大学の全ての医学生が当院で実習を行うこととなっています。限られた時間ではありますが、皆さんに総合診療・地域医療の魅力が伝わり、将来の道を考える選択肢の1つとなりますように。



講座スタッフ紹介③



講師 松田 俊太郎

当講座では、主に串間市民病院において、日常診療を学生や専攻医と一緒に実践する役割を担っています。宮崎の地域医療をずっとやってきましたので、井の中の蛙で、世の中のことがわかっていけませんので、本当に正しいことを伝えられているのか迷うことばかりです。でもきっと大事なことは今も昔も変わらないのではないかと勝手に信じこんで、自分に言い聞かせながら、頑張っている毎日です。最近は、何時に寝ても朝5時には起きてしまう、いわゆる年齢を感じてしまう毎日ですが、無理をしないようにのんびりやっていこうと思っています。

臨床研究に関する特別講演会を開催しました。

福原俊一先生（京都大学教授／福島県立医科大学副学長／日本臨床疫学会代表理事／日本プライマリ・ケア連合学会理事）を招聘して、「臨床研究は、医療者を元気にし、地域医療を元気にする」というタイトルでご講演いただきました。宮崎大学内外から、医師、研修医、学生など総数41名の参加をいただきました。

タイトル通り元気が出てくるような講演で、学生・研修医から教授まで幅広い層の参加者がいましたが、みんなにとって今後の参考になる内容でした。総合診療／プライマリ・ケア（Primary Care）×健康寿命（Health Aging）×臨床研究（Clinical Research）として、ハイブリッド型Drを福島県で養成している取り組みは、当講座にとっても非常に刺激になりました。当講座専攻医も、宮崎県内各地から集合してくれました！



第13回九州支部総会・講習会 in 佐賀に参加しました。

第13回九州支部総会・講習会 in 佐賀（2月3～4日）に宮崎大学からFMIG宮崎（Family Medicine Interest Group）に所属する医学生2人に参加してもらいました。

立派な参加報告書を作ってくれましたが、その中から許可をいただいて学生企画に参加しての報告を一部改変して掲載します。佐賀大学の地域医療サークルとも交流してもらい、学生同士の輪が広がり、地域医療・総合診療を一緒に盛り上げていてもらいたいです。

☆学生企画/ワークショップ

「僕たち私たちも地域の一員だよ！～繋がりのある地域って？～」佐賀大学医学生学生地域医療サークル「学生地域交流の会 Student Community Support(SCS)」主催のワークショップでした。この学生組織は、学生が地域の方々と関わりを持つ機会の少ない現状の中で、教育や医療など様々な観点から地域の活性化に貢献したいと、佐賀大学の医学科、看護学科の学生有志が設立した組織です。

今回のワークショップでは、ソーシャルキャピタル（人々・組織同士の繋がりなどの社会関係を資源としてとらえる概念）を高めるためにはどうすることができるのかを、症例をベースに班ごとにディスカッションしました。

●地図から地域資源(保育園・小中学校・公民館・散歩道・クリニック)などを読み取り、事例に対してこれをどう活かすかを考える作業を行った。

●保育園・小中学校や学生が高齢者の介護予防・改善・訓練に対する”重要なツール”であることを初めて認識した。地図から地域資源を考えるという作業が新鮮で面白かった。宮崎でもやってみたい。自分たちに割り振られた症例は、今はQOLが高く生活も自立している患者だけれども、今後ADLの低下が予想される患者に対して、これから自分たちは何ができるかを考えるというもので、普段は患者の現状をどう対応していくかを考えるものが多いので非常にいい刺激になりました。



▲坂口さん、泉さん、桐ヶ谷先生（右から）



◀発表の様子

講座のイベント情報

- レジデントデイ
2/23(金) 18:00～ 場所：串間市民病院
- 平成29年度臨床実習報告会
3/2(金) 19:30～ 場所：ニューウェルシティ宮崎
- 質的研究に関する特別講演会
講師：名古屋大学 教授 大谷 尚先生
3/24(土) 9:00～11:00 場所：宮崎大学医学部
※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiryo@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

